

YAMANASHI



壁飾り

介護保険制度の充実にあわせて

平成19年度 定期総会開催

第1回施設職員交流ソフトボール大会

部会活動報告

施設紹介 大津ケアセンター

施設訪問記 ひばり苑

介護保険制度の充実 にむけて



山梨県福祉保健部長寿社会課
課長 三枝 幹 男

介護保険制度がスタートしてから七年余が過ぎました。その間、高齢化の急速な進展や介護サービスの利用の多様化などの情勢の変化に伴い、数次の見直しが行われましたが、中でも平成17年の改正は、制度創設以来の大規模なものとなりました。

この見直しにあたっては「予防重視型システムへの転換」を基本理念に据え、在宅介護を更に推進し、介護保険制度を将来にわたって安定的に持続、発展させるため、軽度者の認定方法や予防給付の見直し、居住費や食費の自己負担などが盛り込まれました。

介護保険施設においては、これらの事項に的確に対応するための組織体制や各種規程の変更、利用者及び御家族への説明、新たな契約の取り交わし、ケアプランの変更などに追われ、大変な御苦勞をされたことと存じます。

お陰をもちまして、新たな制度によるサービスが着実に浸透していると考えており、皆様の御尽力に対して深く感謝を申し上げます。

さて、現在、療養病床の再編成が当面の重点課題となっております。

国は、平成23年度末までに介護療養病床を廃止し、介護老人保健施設やケアハウスなどへ転換する方針を打ち出しました。

これを受けて、本県は、療養病床の削減による受け皿づくりを含め、将来的なニーズや社会資源等の状況に即した「地域ケア体制整備構想」を本年秋を目途に策定することとしております。

そのほか、介護予防システムの推進、認知症対策の充実、介護人材の育成確保など、高齢者福祉に関する様々な課題が山積しておりますが、これらはいずれも、今後の老健の在り方に密接に関わるものであります。

県としても、今後、こうした課題に対応する施策を積極的に推進していきますので、皆様方の御理解と御協力をお願いいたします。

終わりに、山梨県老人保健施設協議会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍を祈念し、結びといたします。

平成19年度 山梨県老人保健施設協議会定期総会



4月27日（金）ベルクラシック甲府において、30施設より64名の会員参加のもと、山梨県老人保健施設協議会定期総会が開催されました。

はじめに保坂 久会長より大津ケアセンターが30番目の加入施設となった報告のあと、急速な少子高齢化のなかで国の介護保険医療費の増加など、また、介護保険法改正があり老健施設における環境も厳しい現状であり、多くの困難な問題が山積みしているが、介護施設の理念を堅持し初心に帰って努力をしていく決意であると挨拶がありました。



続いて、来賓として三枝幹男（県福祉保健部長寿社会課長）様から、昨年の介護保険制度が大きく見直しされ、高齢者自立支援、地域密着型サービス等今後従前に増してよりこまやかなサービスが求められている、老健施設は高齢者自立支援、在宅支援などサービスを提供している施設として社会的に重要性は高く、これからも施設の適切な運営に努めニーズにあったサービスの提供をお願いしたいと挨拶がありました。

平成18年度の事業報告・決算報告に引き続き、平成19年度の事業計画と予算が承認されました。また、施設専門職種からなる8部会の事業報告や計画についても審議され承認されました。

総会終了後、懇親会が開催され、情報交換や意見交換がなされ、有意義のうちに終了しました。



【議事内容】

第1号議案

- 1) 平成18年度 協議会事業報告
- 2) 平成18年度 委員会事業報告
- 3) 平成18年度 8部会事業報告

第2号議案

- 1) 平成18年度 8部会決算報告
- 2) 平成18年度 委員会決算報告
- 3) 平成18年度 協議会決算報告 監査報告

第3号議案

- 1) 平成19年度 圏域別理事及び新役員承認の件

第4号議案

- 1) 平成19年度 協議会事業計画
- 2) 平成19年度 委員会事業計画
- 3) 平成19年度 8部会事業計画

第5号議案

- 1) 平成19年度 協議会予算
- 2) 平成19年度 委員会予算
- 3) 平成19年度 8部会事業予算



山梨県老人保健施設協議会
会長 保坂 久
(いちのみやケアセンター)

保坂 久会長の挨拶

平成19年度山梨県老人保健施設協議会定期総会を開催するに当たりまして一言ご挨拶を申し上げます。

(中略：会員や職員に対する日頃からの御礼・県に対する謝辞)

さて本総会は平成18年度事業報告、並びに決算報告を各担当からご報告申し上げ、ご承認を戴くこと、また本年度の事業計画、予算案を申し上げ、本年度の活動を一層盛り上げて戴くものであります。よろしくご審議を賜り本総会が有意義なものとなりますようお願いを申し上げます。

本年度は、全国老人保健施設協会の役員改選期にも当たり、3月代議員会が開催され、新しく大阪から立候補した河合秀治氏が会長に選出されました。同時に、役員改選も行なわれ、新しい体制の下、力強く発足いたしましたところであります。私達、山梨県老人保健施設協議会も、過日、各圏域ごとに会議を開催していただき、改めて今期の理事を選出していただきました。そして3月の理事会の席上、次期執行部を決定させていただきました。その結果、再び私が次期会長に選任されました。誠に頼りない会長では在りますが、任期中精一杯努力いたしたいと考えておりますので是非ともよろしくご協力のほどお願い申し上げます。その他の次期役員のご紹介は会の進行に合わせて後ほどさせていただきます。処で、本年度私達のお仲間新しく医療法人健栄会大津ケアセンター様が入会されました。本県30番目の施設となります。後ほどご挨拶を賜りたいと存じております。さて、私達介護老人保健施設を取り巻く環境は、わが国の急速に進む少子高齢化の中で、年々厳しい環境に変わりつつあることを実感しているのは私一人だけではないと存じます。国の医療、介護保険の財政が年々厳しくなる中で、国の施策は必ずしも私達にとって満足するものではありません。さまざまに変わる国の施策に、正に翻弄されているといっても過言ではないかと思われます。中でも一昨年、医療制度改革関連法案が国会で成立し、医療、介護保険が適用されている現在の療養病床38万床を2011年度までに15万床に減らし23万床を介護老人保健施設や居宅老人ホームなどに転換しようとしています。私達は、老健施設が持つ機能から鑑み、ただただ困惑を隠しえませぬ。

更に我々老健が問われるリハビリの充実、身体拘束の廃止、認知症対応など多くの困難な問題が山積みしている中、それでも尚、私達は、これに向って懸命に突き進まなければなりません。今こそ私達は初心にかえり介護老人保健施設の理念を堅持し、療養病床の行方を、将来の老人介護、福祉の姿をしっかりと見据え日々の研鑽、研修に務めなければならないと思います。

会員の皆様のご努力を期待申し上げると共に、ご健勝とご活躍を心からお祈りし私のご挨拶とさせていただきます。



平成19年度 山梨県老人保健施設協議会事業計画

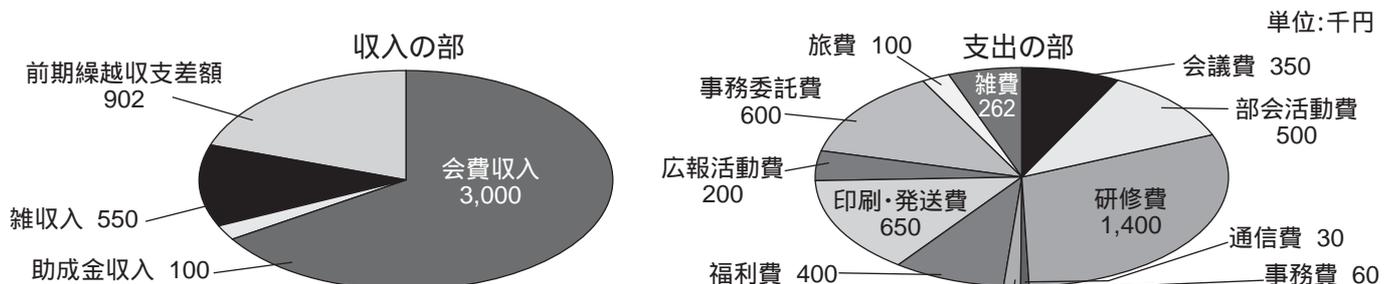
- 1. 定期総会の開催 年1回
- 2. 臨時総会の開催 必要に応じて開催
- 3. 理事会の開催 年5～6回
- 4. その他の事業
 - (1) 医師連絡会の開催 年1回
 - (2) 行政主催の各会議への参加 随時



| 月 | 協議会活動 | 専門部会活動 |
|----|--|--|
| 4 | 理事会(4/18) 研修委員会(4/5)・広報委員会(4/12) 福利委員会(4/11)・定期総会(4/27) | |
| 5 | 新人職員研修会(5/16) 福利委員会(キャプテン会議)(5/21) 第1回職員交流ソフトボール大会(5/27) | 支援相談員部会(5/15) 栄養士部会(5/23) |
| 6 | 広報委員会(6/1) 研修委員会(6/2) | 介護支援専門員部会(6/20) 看護部会、介護部会、リハビリ部会 |
| 7 | 理事会 | 事務長部会 通所リハビリ部会 |
| 8 | 広報誌『ろうけん』21号発行 | 支援相談員部会(8/21) |
| 9 | | 栄養士部会(9/12) 介護・看護部会合同学習会 リハビリ部会 |
| 10 | 研修委員会(10/19) 理事会 | 介護支援専門員部会(10/17) 事務長部会 |
| 11 | 研修委員会(11/13) 第10回山梨県老健大会(11/21) 福利委員会(キャプテン会議) 第13回職員交流ソフトバレーボール大会(11/25) | 支援相談員部会(11/20) 通所リハビリ部会 |
| 12 | 理事会 | |
| 1 | 研修委員会(1/11) 広報誌『ろうけん』22号発行 | 介護・看護部会合同学習会 |
| 2 | 研修委員会(2/27) | 支援相談員部会(2/19) 介護支援専門員部会(2/20) 通所リハビリ部会、事務長部会 |
| 3 | 医師連絡会議 理事会 | 看護部会、リハビリ部会 栄養士部会(3/12) |

上記の月間予定については変更になる場合がありますのでご確認ください。

平成19年度 山梨県老人保健施設協議会収支予算書の概要



第1回 職員交流ソフトボール大会について



平成19年5月27日（日）、甲府市水道局グラウンドにおいて「第1回山梨県老人保健施設協議会職員交流ソフトボール大会」が、大会実行委員長有泉道行様の挨拶、甲府相川ケアセンター坂本司選手の力強い選手宣誓により開催されました。本年は協議会の公式行事となり、初回ではありましたが県内30施設中19施設の参加があり、快晴のもと選手は勿論、応援の方々も大変だったと思いますが、白熱した試合が展開されました。

その中で特筆すべきは、準決勝での山梨ライフケア・ホーム対甲府相川ケアセンターの試合です。5対5同点の末、

トス（ジャンケン）によって山梨ライフケア・ホームが勝利を握り、その勢いを以って5連覇中の恵信ケアセンターとの決勝戦に臨み、緊迫した接戦の結果、5対4のスコアにて6連覇を阻止、勝利を獲得されました。

終日暑く、皆様のご協力により順調に進行できました事を、心より感謝お礼申し上げます。また、大会運営に際し、ご尽力いただきました保坂会長以下関係者各位の皆様、本当に有り難うございました。

成績結果

| | |
|-----|-------------|
| 優 勝 | 山梨ライフケア・ホーム |
| 準優勝 | 恵信ケアセンター |
| 第3位 | 甲府相川ケアセンター |
| | も も く ら |

「優勝施設にインタビュー」

みんなで掴んだ初優勝

介護老人保健施設山梨ライフケア・ホーム
キャプテン 清水 勝彦

今回、正式大会になって1回目の大会で記念すべき初優勝ができたことに大きな驚きと喜びを感じました。何故なら、今回参加するにあたり勤務の都合上、メンバーが揃わず参加するかどうか悩んだということがありました。しかし、「絶対にできる！」という職員の熱意と大会には参加できなかった職員方の協力もあり、どうにか参加できることになりました。

そして大会当日、みんなの「勝ちたい！」という強い気持ちと強い運で普段の実力以上の力を発揮でき見事優勝という栄冠を勝ち取ることができました。更に嬉しい事に、大会が終わり施設へ優勝報告をするために帰った所、利用者の皆様、職員方が入り口でアーチを作り選手たちを祝福してくださるというサプライズがありました。みんなで万歳をしたり、中には抱きあって感涙していた方もいました。この光景を見ながら思ったことは、本当の勝因は選手だけではなく利用者の皆様、職員方の思いが我々を勝たせてくれたのだと思いました。この大会に参加でき利用者の皆様と職員との絆がより一層深まりよかったです。ありがとうございました。



● 施 設 ● 紹 介 ●

大津ケアセンター 〒400-0055 甲府市大津町1509-1
TEL 055-244-0202

医療法人健栄会 介護老人保健施設「大津ケアセンター」は、甲府市郊外、大津町の荒川の畔に、平成19年2月1日から開設した新しい施設です。

施設からの眺望は素晴らしく、西には北岳を中心とした南アルプス連峰の山々が、北には八ヶ岳、東には秩父山系の山々が、さらに南側には笛吹川の清流の上に、ちょっぴり富士山の姿を見ることが出来ます。

また、施設周辺には、甲府市の大津公園をはじめ、スポーツレクリエーション施設、大津ターゲットバードゴルフ場などがあり、緑に囲まれた静かな環境の中を車椅子などで散歩できることを、利用者の皆さんは非常に喜んでおられます。

建物は、鉄筋コンクリート3階建て3,478㎡で、入所定員は90人、そのうち個室は50室を備え、10室単位に食堂やレクリエーション、機能訓練ができるスペースを設ける「ユニットケア方式」を取り入れて、なるべく家庭的な雰囲気の中で、ケアが出来るよう努めているところです。このほかに2人部屋、4人部屋を40床設けております。

廊下なども思い切って広く取り、部屋も南面を多く利用した結果、施設全体が明るい感じがします。

さらに、通所リハビリテーション施設も併設して、一日20人までが利用できます。

スタートして数ヶ月ですが、入居者の皆さんに楽しい日々を送っていただくための工夫を、職員一同試行錯誤しながら進めております。

また、家族や地域の皆さんにも参加をいただきながら、季節感や日本の伝統文化を肌で感じていただく様々なイベントについても計画しております。

私共、総合的ケアサービスを提供する中で、家庭復帰を目指し、又、在宅ケアを支援する施設として老健の役割をしっかりと果たして参りたいと考えております。



部 会 活 動 報 告

栄養士部会

栄養士部会部会長 塚原 あゆみ

第1回栄養士部会の開催

日 時 平成19年5月24日 14:00~17:30
場 所 山梨県歯科医師会館
活動内容 研修 「やまなし8020運動推進員研修プログラム」
講 演 「歯と全身との健康の関係8020運動概要」
講 師 山梨県地域保健部公衆衛生委員 田中 俊彦 先生
「これからの口腔ケア」
講 師 山梨県歯科医師会歯科衛生士 丸山 幸江 先生

平成18年度活動報告・会計報告

平成19年度活動計画・予算案について

「口腔ケアについて」の研修会をおこなって・・・

今回、老健施設における口腔ケアの重要性について学ぶことができました。終了時には認定証も頂き、有意義な研修会だったと思います。

支援相談員部会

支援相談員部会部会長 秋山 靖

第1回支援相談員部会の開催

日 時 平成19年5月15日 14:00~17:30
場 所 市川三郷町総合福祉センター
活動内容 「今後の支援相談員部会について」
意見交換

平成18年度活動報告・会計報告

平成19年度活動計画

平成19年度予算案について

情報交換

第1回は28施設30名の支援相談員の参加があり、初顔合わせを行いました。年4回の部会と限られた機会となっておりますので、施設間の連携がより円滑なものとなるようにしていきたいと思っております。



施設訪問記

ひばり苑

(訪問者 山梨ライフケア・ホーム)



五月晴れの頬を撫でる風の心地よい午後、ひばり苑を訪問させて頂きました。県中西部、昭和町の昭和バイパス沿いに位置し、洒落たデザインの建物が落ち着いた雰囲気を醸し出しし町に溶け込んでいました。本日は、施設が力を入れていること、目標についてご多忙の中、本支援相談員と中村事務員にお話を伺いました。

施設の特徴

吹き抜けが2か所と最上部に採光のための広い窓があるので、とても明るく、開放感のある施設は、平成6年に開設されました。「ひばり」の由来は昭和町の町の鳥に指定されているからとのことです。また、『あなたにやすらぎを～こころの通う介護～』を基本理念に、利用者一人一人の特性に応じたサービスを提供されているとのことです。

協力病院である併設の武川病院とは2階部分が扉一枚でつながっていて、急変時にも即応が可能なため、利用者やご家族から『病院がそばにあって安心』との声を多く頂いているだけでなく、職員も安心して業務に当たることができるとのことです。

地域交流（ボランティア・教育）

利用者の日常生活のアクセントと、地域の皆様との交流の機会として、様々なボランティアを積極的に受け入れておられるとのこと。レクリエーションでは音楽・体操・紙芝居・折り紙、日常生活では地元愛育会の方々が話し相手や配膳補助で来所されます。毎月の行事ではハワイアン・琴・マンドリン・和太鼓等、季節に応じたボランティアをお願いしているとのことでした。

看護学生、介護専門学校生徒、ヘルパー実習生、作業療法士実習生を毎年延べ400名の受け入れを実施されている。また、大学や専門学校、ヘルパー講習に講師として職員を派遣し、教育機関と連携し、学生に実践を通じた教育活動をされていると伺い、感心しました。

更に、施設の利用者・家族に限らず、リハビリについての相談に応じているので、近隣の居宅ケアマネージャーや他事業所等からも様々なご相談をいただいているとの事でした。

今後の目標・取り組み

『制度改正の中、施設を取り巻く環境は厳しさを増すばかりだが、我々は在宅復帰支援施設として、愚直にその使命を果たしたい。また、少しでも長く在宅で生活していただくために、我々に何ができるのか、何をなすべきかを常に自分に問いかけながら日々業務を遂行している。』更に続けて『地域やご家庭に対し、医療・保健・福祉・リハビリの情報発信と総合相談及びサービス提供を一体的に行い、地域に根ざした「使える施設」となるよう、これからも研鑽し、利用者や家族が安心して笑顔で暮らせる町創りに貢献したい。』と力強くお話になるも、本支援相談員の熱意を感じるとともに、あらゆる意味で地域の中核施設としてのひばり苑の決意が伝わってきました。

施設の概要

| | |
|------|--------------------------------------|
| 入所定員 | 53名 |
| 通所定員 | 20人 |
| 協力病院 | 武川病院 |
| 協力歯科 | 五味歯科医院 |
| 所在地 | 〒409-3852 中巨摩郡昭和町飯喰1277 |
| 電話番号 | TEL 055-275-9511 FAX 055-275-9512 |

シリーズ さくひん



さくら（壁飾り）（ひばり苑）

この作品は、「早くあたたかくなるといいね」なんて会話をしていた3月にデイケアの利用者さん達が作ってくれたちぎり絵です。

開苑当事(平成6年)植えた3本の桜が大きく育って、今年は特に綺麗に咲いて、ひばり苑の玄関先が春一色に景色を彩られました。3月の下旬から4月にかけて満開になり、おいしいおやつを食べながら桜の下でお花見をすることが出来ました。

「早くお花見がしたいよね」そんな想いも込めて作られた作品です。

編集後記

今年、広報委員長を引き受けさせていただくことになりました。7月には珍しい大きな台風が7月14日、15日と沖縄、九州を直撃して、各地に被害を及ぼし、7月16日には新潟、長野北部の地震が発生し、多くの方が非難生活をおくっており、世の中の変化も激しく、予測のつかない方向に向かっているように感じます。医療福祉の世界も介護保険が導入され、その世界に民間の業者が参入し、業界でトップシェアを占めるようになったと思ったら、不正が発覚して、手をひくことになり、顧客である生活支援の必要な方々が迷惑している状態になっていたりして、自分たちが置かれている世界も変化から無縁の状態ではありえない。インターネットが普及し、調べるつもりになれば、価値のあるなしにかかわらず、多量の情報を得ることが可能です。しかし、情報はあふれるもの、その情報の取捨選択は個人にまかされることになり、結局はその個人次第ということになります。われわれの使命は、情報ばかりに惑わされず、自分を磨き努力を積み重ね、目の前の利用者さまのために、「忘己利他」の精神で着実に努力することだと思います。

広報委員長 都 倉 昭 彦
(しおかわ福寿の里)

山梨県老人保健施設協議会広報誌

編集・発行 山梨県老人保健施設協議会
広報委員会
事務局 〒405-0076
山梨県笛吹市一宮町竹原1255-1
いちのみやケアセンター内
TEL.0553-47-4811
FAX.0553-47-4815
ホームページ:
<http://www.y-rouken.jp>
Eメール:rouken@tiara.ocn.ne.jp
印刷 株式会社 少国民社